

# 東京音楽大学リポジトリ

## Tokyo College of Music Repository

イタリア語における女性の「名字」に前置された定冠詞のエリジオンについて

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2024-02-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 久保 博 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/2000043">https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/2000043</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# イタリア語における女性の「名字」に 前置された定冠詞のエリジョンについて

久 保 博

# イタリア語における女性の「名字」に前置された 定冠詞のエリジオンについて

久保博

## 1.0. 始めに

本研究の対象は、イタリア語におけるエリジオンであり、特に女性の「名字」に前置される定冠詞のエリジオンに焦点を当てる。主な目的は以下のとおりである。普通名詞に前置された定冠詞がエリジオンを起こすコンテキスト（母音の前）においても、女性の「名字」に前置された場合は、エリジオンを起こさないことが「無標」、つまり基本の形であることを、言語コーパスから集めたデータをもとに主張する。

エリジオンとは、母音で始まる語の前では、その直前に前置される語の本来発音されるべき語末の母音が、発音されなくなる連声現象の一つである。本研究では、同現象を指す用語として、一般によく知られているフランス語由来の「エリジオン」を用いる。

本調査で明らかになる重要な結論は、定冠詞が母音で始まる女性の「名字」の前で「エリジオン」を起こさない頻度は、母音で始まる普通名詞の前で「エリジオン」を起こさない頻度よりもはるかに高く、統計的な観点からも有意であるといえる点にある。

## 1. 先行研究と基礎知識

### 1.1. 定冠詞

現代イタリア語の定冠詞は、以下の表に示されたな分布を示すことが知られている。

表1 イタリア語における定冠詞の分布

語頭の音韻的組成	男性			女性	
	母音	<i>s</i> + 子音, <i>z</i> , <i>ps</i> , <i>x</i> , <i>gn</i> , <i>y</i>	それ以外の子音	母音	子音
単数	<i>l'</i>	<i>lo</i>	<i>il</i>	<i>l'</i>	<i>la</i>
複数	<i>gli</i>		<i>i</i>	<i>le</i>	

定冠詞女性形単数の基本の形である *la* が母音の前では、*l'* となり、その語末の母音が脱落する現象を「エリジオン」と呼ぶ。この現象は語頭の母音の質に関係なく発生する。

(1)

a. *l'amica*

- b. l'energia
- c. l'italiana
- d. l'università
- e. l'oca

イタリア語における「エリジオン」も、女性の「名字」を含む固有名詞も定冠詞も、それぞれ一般的なテーマであり、多くの文法書でも扱われているうえに、無数の研究がすでに行われてきた。

イタリア語には、冠詞前置詞と呼ばれる前置詞と定冠詞が結合した語もあり、定冠詞単体の時とほぼ同じ形態変化を示すが、今回の調査では考慮に入れないので、詳細は割愛する。

### 1.3. イタリアの人名のシステム

イタリア人の人名は通常 NOME と COGNOME で構成される。NOME は個人の「シニフィアン」、COGNOME は社会を構成する最小の集団である家族の「シニフィアン」である。以降前者を「名前」、後者を「名字」とする。例えば2023年9月1日現在のイタリアの首相である Giorgia Meloni の場合、「名前」は Giorgia、「名字」は Meloni となる。

### 1.2. イタリア語における人名の前に現れる定冠詞

標準イタリア語では、「名前」の前には男性、女性問わず定冠詞を付けないのが通常であるが、「名字」の場合、男性には定冠詞を付けず、女性には定冠詞を付ける。以下の三つの例では、すべて女性を表しており、*Rigbetto* は「名字」、*Matilde* は名前、*Matilde Rigbetto* はフルネームとして使われている。

- (4) \* (*la*) *Rigbetto vive in America da un anno.*

「リゲットさんは、一年前からアメリカに住んでいる」

- (5) \* (*la*) *Matilde vive in America da un anno.*

「マティルデは一年前からアメリカに住んでいる」

- (6) \* (*la*) *Matilde Rigbetto vive in America da un anno.*

「マティルデ・リゲットは一年前からアメリカに住んでいる」

Kubo (2016)

### 1.3. 女性の「名字」に前置された定冠詞の「エリジオン」

イタリア語を母語とするものの日常の会話において、通常女性の「名字」に定冠詞を付ける際、それが母音で始まると「エリジオン」が起きない。しかしそのことに関して、研究はおろかそれに関する言及すらもほぼ皆無である。

唯一の例外と思われるのは *Lepscky & Lepscky* (1981: 95) であり、「女性の名字の前では、母音で始まっても、*la* という形で出現し「エリジオン」を起こさない。*La Ingrao, La Antinucci*」(本稿執筆者訳)と簡潔な記述にとどまる。

ただ、この記述には不十分な点もある。次の二つの例を見てほしい。インターネット上で見つけることができる例 (7) と (8) の下線部の様に、定冠詞の「エリジオン」に関して揺れを確認することができる。(以下の例の“*Errani*”は双方ともに *Sara Errani* という女性プロテニスプレイヤーに言及している。)

(7) *L'Errani è citata dal Wall Street Journal, [...]* (下線、本稿執筆者)

「エッラーニはウォール・ストリート・ジャーナルに引用され、(中略)」

(<https://www.italiachiamaitalia.it/sara-errani-odio-1%E2%80%99inter-e-non-devo-chiedere-scusa-di-simona-aiuti/>)

(8) *Per aggiudicarsi il titolo, la Errani ha battuto tre giocatrici che, [...]* (下線、本稿執筆者)

「タイトルを獲得するため、エッラーニは三人の選手を倒したが、(中略)」

(<https://tennismagazineitalia.it/news/sara-errani-fa-1-000-e-torna-a-vincere-un-torneo-dopo-tre-anni>)

上に引用した *Lepscky & Lepscky* (1981: 95) の記述は、(7) と (8) の間にみられるようなゆれにかんして実際の現象に即していない部分がある可能性があることになる。

つまり、今現在女性の「名字」と定冠詞の「エリジオン」に関して確かなことは、そのデータも含めてほぼ何もないようである。

本調査ではコーパスを用いた計量調査を行い、この「欠落」を埋める。コーパスを用いた計量調査は、規範にも触れられておらず、ほとんど研究も進んでもおらず、さらに実際に使われる例にばらつきが認められる場合、一定の指針を与えてくれる。

## 2. 調査の概要

### 2.1. 調査した女性の「名字」の特徴

本調査では、コーパスでの検索にあたって以下の特徴を持つ語を用いた。

- 1) イニシャルが大文字である。
- 2) イニシャルが母音である。
- 3) 語尾が *i* である。

以上の特徴を持つ語の検索を行った理由は以下のとおりである。

- 1) イニシャルが大文字である。

イタリア語の書き言葉では、人名を含めて固有名詞のイニシャルが大文字で記すという規則があるため、本調査でもイニシャルが大文字である語彙を検索した。人名と、その他の固有名詞、例えば、地名や団体名、組織名などを分けることはできないため、後で選別する必要が生じる。

2) イニシャルが母音である。

本研究が「エリジオン」に関するものであるため、必然的に語頭が母音である語を検索する必要がある。

3) 語尾が*i*である。

イタリアに存在する「名字」に関して調査を継続的に行っているサイト“Cognomix” (<https://www.cognomix.it/>) には、2023年8月14日現在の検索によると、59060の「名字」が掲載されている。サイトには掲載されていないが、今回の調査のために“Cognomix”に掲載されている母音で始まる「名字」を語尾ごとに分類を行い、それぞれの度数を調査した。それらの語の語尾の内訳は以下のとおりである。表2、表3、表4では、割合に関しては小数点以下第二位で四捨五入する。また、表5では小数点以下第三位を四捨五入する。なお、四捨五入による計算の丸め誤差が存在するため、値の合計は100%にならない場合がある。

表2 「名字」の語尾

語末母音	出現数	割合
-a	8825	14.9%
-e	4143	7.1%
-i	22522	38.1%
-o	17577	29.7%
-u	955	1.7%
それ以外	5038	8.5%
合計	59060	100%

語尾が*i*である「名字」が最も多く、それだけで合計(59060)の三分の一以上ある。このことは、数の上で、語尾が*i*で終わる「名字」がイタリアに存在する「名字」の中で典型的なものであると考えて差し支えないことになる。

また、この語尾が*i*であるという特徴にはもう一つ本調査において利する点がある。イタリアに存在する名前に関して調査を継続的に行っているサイト“Nomix” (<https://www.nomix.it/>) には、2023年8月14日現在の検索によると、3198の「名前」が掲載されている。すでに述べたように、本研究では語頭が大文字で始まる語の検索を行うのだが、人名に限っても当然「名字」と「名前」が含まれることになる。イタリア語の「名前」は基本的に母音で終わるのだが、母音で終わる語の中でも*i*で終わる「名前」は全体のわずか2%強であることがわかる。

表3 「名前」の語尾

語尾	出現数	割合
-a	1205	37.7%
-e	352	11.0%
-i	69	2.2%
-o	793	24.8%
-u	6	0.2%
それ以外	773	24.2%
合計	3198	100%

さらに、イタリア内務省の *Dipartimento per gli Affari Interni e Territoriali* のサイト上 ([https://dait.interno.gov.it/territorio-e-autonomie-locali/sut/elenco\\_cens\\_var\\_comuni\\_italiani.php](https://dait.interno.gov.it/territorio-e-autonomie-locali/sut/elenco_cens_var_comuni_italiani.php)) に掲載されている情報をもとに *comune* (基礎自治体) の地名に関して集計を行った結果、現在存在する 7901 の *comune* に関しても *i* で終わるものはわずか約 10% と、決して多数派とは言えない割合である。

表4 「地名」の語尾

語尾	出現数	割合
-a	2135	27.0%
-e	1277	16.2%
-i	768	9.7%
-o	3300	41.8%
-u	31	0.4%
それ以外	390	4.9%
合計	7901	100%

したがって、固有名詞の中で *i* で終わるものを選ぶことで、自動的に多くの「名前」と多くの地名から選別することができ、後の作業の効率化を図ることができる。

## 2.2. 本調査で用いたコーパス

本調査では、イタリアのボローニャ大学の元教授である *Rema Rossini Favretti* によってはじめられた *CORIS* を用いた。それは、使いやすく幅広いデータを含む書き言葉としてのイタリア語の一般的なコーパスを作るプロジェクトの一環として作成された。2001年9月からオンラインで参照可能である。

*CORIS* のポータルページ上 ([https://corpora.ficlit.unibo.it/coris\\_ita.html](https://corpora.ficlit.unibo.it/coris_ita.html)) では一億五千万語を

含むと示されているが、CORISに掲載されている最新の情報によると、(<https://corpora.ficlit.unibo.it/TCORIS/>)によると2021年には一億六千五百万語にまで増えていると示されている。

もちろん、今日コーパスを用いた調査では *Sketch Engine* (<https://www.sketchengine.eu>) が頻繁に参照されるが、今回はあえてCORISを使用した。理由は、CORISの反応速度が非常に速い点にある。CORISでは正規表現を用いたうえ複数の語の連続を検索する場合でも数秒でデータが表示される。このCORISの軽さと速さは、今回の様な手探り状態の調査においては重要な利点である。

### 2.3. 本調査で用いた正規表現

本調査では、CORISのサイト内に掲載されている情報をもとに (<https://corpora.ficlit.unibo.it/TCORIS/QueryLanguage.html>) まず以下の (9) のような正規表現を用いることから始めた。

(9) “L|l” “¥047” “A.\*i”

この正規表現は、コーパス上のデータの中でスペースで区切られている三つの文字列を表しており、“”の間がそれぞれの探している文字列に相当する。最初の文字列は、アルファベットの12番目の文字 *l* (エル) の大文字もしくは小文字、二番目はアポストロフィ、三番目は大文字の *A* で始まり小文字の *i* で終わるようなすべての文字列を表している。

この文字列を入力すると、以上の三つの文字列をふくむデータが前後30文字を含めて表示される。それに続いて、

- ① 三番目の文字列の大文字の母音を他のすべての母音に変えたうえで、それぞれで検索を行う。
- ② 次に最初の二つの文字列を “*La/la*” に変えたうえで、①の作業を繰り返し、検索を行う。

## 3. 調査

### 3.1. 母音で始まる一般名詞(女性)に前置された定冠詞に「エリジオン」が起こらない割合

既に述べたように女性名詞に定冠詞が前置される場合、通常、定冠詞に「エリジオン」が起こる。しかし、実際には、この「エリジオン」が起こらない場合もあることも知られている。*Serianni* (1988: 163) によると、

*L'elisione di la davanti a vocale, benché sempre raccomandabile, talvolta non è praticata nell'uso scritto [...].*

「母音の前の *la* は母音を脱落させる方が、常にこのまれるのは勿論だが、時に書き言葉の使用例の中では行われぬこともある」。(執筆者訳)



この点に関して、すでに研究が行われており、統計的な数値がいくつか提示されている。

表5 *Vanvolsem* (2007: 231)

論文名	母音の前の定冠詞が <i>la</i> である割合
<i>Van Damme</i> 2007	0.4%
<i>Vanvolsem</i> 1983	5%
<i>Finizio</i> 1983	9%
<i>Brunet</i> 1979	29.7%

(執筆者により一部訂正)

値は29.7%から0.4%とかなりの幅があり、母音で始まる女性名詞の前に前置された定冠詞に「エリジオン」が起こらない確率に関して見解の一致がないようであるが、いずれにしろ母音で始まる一般名詞の場合は定冠詞に「エリジオン」が起こるほうが「無標」であるということが、割合として示されていることは間違いないであろう。

### 3.2. 以上に示した正規表現を用いた調査の結果

CORISに2.3. で述べた語形を有した語が、定冠詞女性形単数と共に出現する事例と共に検索したところ、条件に合致する大文字で始まる語として、定冠詞女性形単数を伴って出現した文は3706、519の *lemma* がヒットした。この中には、*Einaudi* (出版社)、*Olivetti* (会社)、*Empoli* (サッカーのチーム名)、*Ungaretti* (男性の「名字」、もしくは換喩として本)、*Asti* (地名) など含まれており、タグ付けもされていないため、それらを一つ一つ文脈に合わせて除外しなければならない。さらに、*Iannini*, *Ienzi*, *Iotti* 等、語頭の“*I*”が半母音と解釈できる事例を除外する。

そのなかで、女性の「名字」を表しているだろう事例は計150、そのうち定冠詞が *l'* である事例は27、*la* である事例は123であった。割合にして82%である。

一般名詞の場合、値が29.7%から0.4%となる一方で、80%をこえることから「エリジオン」を起こしていない形のほうが一般名詞と違い、「無標」のように感じられる。表6は、定冠詞に「エリジオン」が起こっているかどうかを、「名字」の語頭の母音ごとに分けたものである。表7は定冠詞と共に現れた女性の「名字」をまとめたものである。

調査手順の関係で、母音ごとに「名字」を整理することになったのだが、意図せず興味深いことが一点浮かび上がってきた。母音が *a* で始まっている場合、「エリジオン」が起こらない割合が明らかに低くなっているように思われる。今回の調査の本筋とは関係ないのでここで詳しくは触れないが、今後のさらなる調査が必要であろう。

本論文の目的の一つがデータの提供でもあるので、本稿末に150すべての文を付録として掲載する。

表6 女性の「名字」の前におけるl'とlaの分布

	l' の出現数	la の出現数	合計	la の割合
<i>a</i>	26	85	111	0.77
<i>e</i>	0	6	6	1
<i>i</i>	0	8	8	1
<i>o</i>	0	18	18	1
<i>u</i>	1	6	7	0.86

表7 定冠詞と共に現れた女性の「名字」

l'	a	<i>Adjani</i>	<i>Agostini</i>	<i>Ali</i>	<i>Altieri</i>	<i>Amadesi</i>	<i>Anceschi</i>	<i>Andreini</i>	
		<i>u</i>	<i>Uffreduzzi</i>						
la	a	<i>Abelli</i>	<i>Addati</i>	<i>Adjani</i>	<i>Afzali</i>	<i>Agnelli</i>	<i>Agnesi</i>	<i>Agosti</i>	
		<i>Airoidi</i>	<i>Alberti</i>	<i>Aldini</i>	<i>Alfonsi</i>	<i>Alpi</i>	<i>Amari</i>	<i>Ammirati</i>	
		<i>Amoretti</i>	<i>Andreini</i>	<i>Andreoli</i>	<i>Andreucci</i>	<i>Anelli</i>	<i>Anghinolfi</i>	<i>Anselmi</i>	
		<i>Antonacci</i>	<i>Antonicelli</i>	<i>Anzi</i>	<i>Apuzzi</i>	<i>Archibugi</i>	<i>Arcuri</i>	<i>Argentieri</i>	
		<i>Armellini</i>	<i>Armeni</i>	<i>Arzeni</i>	<i>Assisi</i>	<i>Assoni</i>	<i>Asti</i>	<i>Attali</i>	
	e	<i>Attili</i>	<i>Aulenti</i>	<i>Autieri</i>	<i>Avalli</i>				
		i	<i>Emili</i>	<i>Ensoli</i>	<i>Errani</i>	<i>Esfandiari</i>			
			<i>Interlandi</i>	<i>Irti</i>	<i>Isoardi</i>	<i>Izzi</i>			
		o	<i>Occhini</i>	<i>Occhipinti</i>	<i>Olzai</i>	<i>Oriani</i>	<i>Orlandi</i>	<i>Orlandini</i>	<i>Orsatti</i>
			<i>Orsi</i>	<i>Ortolani</i>	<i>Ottaviani</i>	<i>Ottieri</i>	<i>Ottolenghi</i>	<i>Oziai</i>	
u	<i>Uliivi</i>	<i>Urilli</i>							

### 3.3. $\chi$ 二乗検定

ここでは手元にある上記のデータと前節で得た結果を用いて $\chi$ 二乗検定を行う。

ただ、上記のデータには検定を行うために必要な情報がいくつか欠けており、仮定としてだが情報を補って検定を行う。当然ながら今後仮定としてのデータではなく実際に調査で得られた情報をもとに再度行われることが期待される。

作業仮説1 *Van Damme* (2007), *Vanvolsem* (1983), *Finizio* (1983), *Brunet* (1979) をすべて同一の母集団から抽出したデータである。

作業仮説2 抽出された総数が示されていないので、「名字」の時と同じ150である。

伊藤 (2002: 105) に説明されている手順をもとに本調査に即して調整し、 $\chi$ 二乗検定を行う

① 以上の四つの論文のサンプルの総数を150としているので、全体の合計は $150 \times 4 = 600$ と

なる。定冠詞が「エリジョン」を起こしている仮定上の総数  $x$  は

$$\begin{aligned}x &= (150 \times (100 - 0.004)) + (150 \times (100 - 0.05)) + (150 \times (100 - 0.09)) + \\ &\quad (150 \times (100 - 0.297)) \\ &= 533.85\end{aligned}$$

とする。

定冠詞が「エリジョン」を起こさない仮定上の総数  $y$  は

$$\begin{aligned}y &= (150 \times 0.004) + (150 \times 0.05) + (150 \times 0.09) + (150 \times 0.297) \\ &= 66.15\end{aligned}$$

とする。

表7 クロス集計表

	「エリジョン」あり	「エリジョン」なし	合計
一般名詞	533.85	66.15	600
「名字」	27	123	150
合計	560.85	189.15	750

② 帰無仮説  $H_0$  をたてる。

「「エリジョン」が、母音から始まる一般名詞と女性の「名字」の前で起こる頻度には差がない」  
帰無仮説  $H_0$  をたてる。

「「エリジョン」が、母音から始まる一般名詞と女性の「名字」の前で起こる頻度には差がある。」

次の式 (m行n列の期待値 = m行の計 × n行の計 ÷ 総計) にしたがって表6の値を利用し、理論値を求める。表8はその結果を表にまとめたものである。

$$\begin{aligned}\text{一般名詞で「エリジョン」ありの期待値} &= 600 \times 560.85 \div 750 \\ &= 448.68\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{一般名詞で「エリジョン」なしの期待値} &= 600 \times 66.15 \div 750 \\ &= 151.32\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{「名字」で「エリジョン」ありの期待値} &= 150 \times 560.85 \div 750 \\ &= 112.17\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{「名字」で「エリジョン」なしの期待値} &= 150 \times 189.15 \div 750 \\ &= 37.83\end{aligned}$$

表8 期待値を示した表

	「エリジオン」あり	「エリジオン」なし
一般名詞	448.68	151.32
「名字」	112.17	37.83

③  $\chi^2$ 乗値を求める。

$\chi^2$ 乗値は、クロス集計表のすべての実測値と期待値を集計した表の同じマス期待値を公式(実測値 - 期待値)<sup>2</sup> ÷ 期待値にあてはめ、その結果をすべて合計する。

$$\begin{aligned}\chi^2 &= ((533.85-448.88)^2 \div 448.68) + ((66.15-151.32)^2 \div 151.32) + ((27-112.17)^2 \div \\ &112.17) + ((123-37.83)^2 \div 37.83) \\ &= 320.52\end{aligned}$$

④ クロス集計表の自由度を求める。

クロス集計表の行の数n と列の数mはそれぞれ2であるので

$$\begin{aligned}\text{自由度 } df &= (m - 1) \times (n - 1) = (2 - 1) \times (2 - 1) = 1 \times 1 \\ &= 1\end{aligned}$$

⑤ 有意水準の設定を設定する。本調査では有意水準 $\alpha$ を0.1%と設定する。

$$\alpha = 0.001$$

$$\begin{aligned}\chi^2(df, \alpha) &= \chi^2(1, 0.001) \\ &= 10.83\end{aligned}$$

⑥ 考察

$\chi^2 = 320.52$  であるので、 $\chi^2 \geq \chi^2(1, 0.001)$  となり、不等式が成り立つ。従って、帰無仮説 $H_0$ が棄却される、対立仮説 $H_1$ が採用される。

以上 $\chi^2$ 乗検定を行った結果、結論としては次のことがいえる。

⑦ 結論

有意水準0.001で、母音から始まる一般名詞と女性の「名字」の前で起こる頻度には統計的に有意な差がある。この有意水準0.001で有意な差があるということは、「帰無仮説を前提とした場合に、実際に観測された事象が起こりえる確率は0.1%以下、すなわち1,000回に1回も生じしな

い特異な現象である」(中村 1992: 81)ということになる。

## 4. むすび

本章では、今回の調査の結論と今後の展望に関して述べる。

4.1. 本論文では、女性の「名字」に前置された定冠詞と「エリジョン」の関係について調査を行った。一般名詞の場合とは明白に違い女性の「名字」の場合、82%の割合で「エリジョン」を起こしていない *la* が現れる。この割合から考えると女性名詞の場合では *la* が無標と主張するには十分であろう。以上の主張は、 $\chi^2$  乗検定を行い、有意水準0.001で統計的な有意差があることが判明したことからも、客観性を持っている。

### 4.2. これからの展望

イタリア語における女性の「名字」と「エリジョン」の関係を調べるにあたって、何度も繰り返しているが、本調査はいわば初動調査のようなもので本格的な調査はこれから行わなければならない。本調査の欠点や新たに見つかったことなどを踏まえて以下の三つの方向性を示す。

1 より大規模なコーパスを使って同様の研究を行う。

本調査では、コーパスとしてCORISを用いた。総語数一億六千五百万語のコーパスであるが、それでも今回の調査で使えた定冠詞が女性の「名字」と共に現れた例はわずか150であった。しかしながらSketch Engine (<https://sketchengine.eu/>) には、イタリア語のコーパスのなかに総語数が12,451,734,885を数えるものもあるので、より詳しい調査を行うことができるだろう。しかし、それは同時により多くの会社名、名前、あだ名、地名などの女性の「名字」以外の固有名詞を除外するという作業が予想されるため、工夫が必要であろう。

2 一般名詞に前置された定冠詞女性単数に「エリジョン」が起きない確率をより細かく調べる。

本調査において、一般名詞の前で定冠詞に「エリジョン」が起きない確率は、すでに行われた研究を援用し計算を行った。しかしながら、値に幅があるうえにコーパスを使ってシステムティックに行った調査ではない。従って言語コーパスを用いて定冠詞女性単数に「エリジョン」が起きない確率を調査する余地がまだあるだろう。

3 語頭の母音と「エリジョン」の関係を精査する。

語頭の母音と「エリジョン」の関係は、すでに述べた二つの展望で調査を行うときに考慮に入れなくてはならない。すでに3.2.で述べたように、語頭の母音によって定冠詞女性形単数にエリジョンが起らない確率が変わるということが意図せず観察された。今回の調査では、メインのテーマではなかったので詳しくは調べなかったが、非常に興味深い点であると思われる。今回観察

された女性の「名字」の前で定冠詞女性形単数にエリジオンが起きた例はほぼすべてAで始まるもので (26 / 27)、のこりの一例はUで始まる「名字」だった。さらに、AとU以外の母音に関しても、例 (4) のようにEではじまる「名字」の場合でも、定冠詞にエリジオンが起きる事例が実際に観察されている。ただ、そもそもAで始まる「名字」のヒット数が多いため割合などを算出したうえでの比較が必要だと思われるので、この点も調査してみる価値はあるだろう。

(本学講師 = 外国語 (イタリア語) 担当)

#### 参考文献

- Brunet, J. (1979), *Grammaire critique de l'italien*, vol. 2. L'article. Paris, Université de Paris VIII – Vincennes.
- Finizio, G. (1983). Elisione: Un caso di regole grammaticali in transizione. *Italica*, 60/4, pp. 360-366.
- Lepschy, Laura & Lepschy, Giulio (2002). *La lingua italiana*. Milano, Bompiani.
- Serianni, Luca (1991). *Grammatica italiana*. Torino, UTET.
- Vanvolsem, Serge. (1983). Il regresso dell'elisione nell'Italiano moderno. In C. Angelet et al. (a cura di) *Langue, Dialecte, Littérature, Etudes Romaines à la Memoire de Hugo Plomteux*, pp. 159-171.
- Vanvolsem, Serge (2007). Il regresso dell'elisione e il suo significato per lo sviluppo dell'italiano moderno. In *Tendenze attuali nella lingua e nella linguistica italiana in Europa*, a cura di A. D'Angelis & L. Toppino, Arcna, pp. 223-238.
- Van Damme, Jo. (2006-2007). L'elisione, norma e uso, Paper di bachelor, presentato al termine dell'anno accademico 2006-2007, K.U.Leuven.

伊藤、雅光 (2002) 『計量言語学』大修館書店

赤野一郎・斎藤俊雄・中村純作 (1998) 『英語コーパス言語学』研究社

付録

本付録には、今回の調査でCORISから入手できたデータに掲載した。1-27までは、エリジョンが起きている例であり、それ以降はエリジョンが起きている例である。インターネット上で実際誰のことか見つけることができたものは、一番右の列にフルネームを記してある。

	左側のコンテキスト		女性の名字	右側のコンテキスト		フルネーム
1	<i>llage dei suoi film più noti,</i>	<i>l</i>	<i>Ajani</i>	<i>, in tailleur gessato di Dior</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Isabella Ajani</i>
2	<i>municare con l' Uffreduzzi e</i>	<i>l</i>	<i>Agostini</i>	<i>che hanno stabilito la loro n</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
3	<i>triste ,mogia e mi essico .</i>	<i>L</i>	<i>Ali</i>	<i>per me è come l' aria ; ; se</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Valeria Ali</i>
4	<i>nel bene e nel male - continua</i>	<i>l</i>	<i>Altieri</i>	<i>- . Anche_ se temo che per int</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Giovanna Altieri</i>
5	<i>hai visto_ che figa è diventata</i>	<i>l</i>	<i>Amadesi</i>	<i>? Io ci provo , zero problemi</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
6	<i>no a Giorgio . Sia lavorandosi</i>	<i>l</i>	<i>Amadesi</i>	<i>, ha ragione , è migliorata .</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
7	<i>i amici . Ci voleva andare con</i>	<i>l</i>	<i>Amadesi</i>	<i>ma i suoi non le hanno dato i</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
8	<i>l'Arma . " Sta di fatto che</i>	<i>l</i>	<i>Anceschi</i>	<i>non è mai arrivata alla Mezza</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Raffaella Anceschi</i>
9	<i>e palcoscenico » , come scrive</i>	<i>l</i>	<i>Andreini</i>	<i>. Ma pure città di enigmi e d</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Alba Andreini</i>
10	<i>uno</i>	<i>l</i>	<i>Andriani</i>	<i>, e uno per me . L' appuntam</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Norma Andriani</i>
11	<i>" Contro " , in cui operavano</i>	<i>l</i>	<i>Andriani</i>	<i>e Mara Nanni . Sennonché stav</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Norma Andriani</i>
12	<i>cifico è che i brigatisti come</i>	<i>l</i>	<i>Andriani</i>	<i>, Bella , Brogi , Ceriani Seb</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Norma Andriani</i>
13	<i>e sulle pari opportunità . Per</i>	<i>l</i>	<i>Anselmi</i>	<i>bisogna stare « attenti a non</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Tina Anselmi</i>
14	<i>Camera Gianfranco Beretta . E</i>	<i>l</i>	<i>Anselmi</i>	<i>mi aveva molto parlato di Di</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Tina Anselmi</i>
15	<i>i dello Stato tipo Ambrosoli ,</i>	<i>l</i>	<i>Anselmi</i>	<i>, non difesi dallo Stato , me</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Tina Anselmi</i>

16	progetto si sia arenato perché	l	'	Archibugi	è una regista che mi ispira g	cognome femminile	Francesca Archibugi
17	le pensare, per esempio, che	l	'	Archibugi	abbia visto e sia rimasta col	cognome femminile	Francesca Archibugi
18	e tener conto del fatto che "	l	'	Archibugi	si interroga a partire da qua	cognome femminile	Francesca Archibugi
19	lei e Renzo ". Come ricorda	l	'	Archibugi	nell' intervista raccolta in	cognome femminile	Francesca Archibugi
20	ltra natura . Infatti, scrive	l	'	Argentieri	, " egli si identifica segret	cognome femminile	Simona Argentieri
21	a prof Argentieri è staccato .	L	'	Argentieri	ha un cellulare che nemmeno s	cognome femminile	(la prof Argentieri)
22	è preso il tumore al fegato .	L	'	Argentieri	non ce ne ha mai parlato, ce	cognome femminile	(la prof Argentieri)
23	colosi . Carovolo, che sfortunata	l	'	Argentieri	! È una noiosa e pignola fmo	cognome femminile	(la prof Argentieri)
24	, ma è quello che sostituisce	l	'	Argentieri	, e siccome parla sempre di s	cognome femminile	(la prof Argentieri)
25	ompariva anche un "Ti amo",	l	'	Atzei	ha smentito il gossip cha la	cognome femminile	Bianca Atzei
26	x naufraga . D' altra parte,	l	'	Atzei	non ha mai fatto mistero dell	cognome femminile	Bianca Atzei
27	possibilità di comunicare con	l	'	Uffredduzzi	e l' Agostini che hanno stab	cognome femminile	?
28	n tre dei suoi collaboratori .	La		Abelli	veniva accusata di riciclaggi	cognome femminile	Rosanna Abelli (Lady Abelli)
29	traverso un pronto soccorso ,	la		Addati	è riuscita ad effettuare gli	cognome femminile	Nilufar Addati
30	meriggio . Poi ho vomitato " .	La		Addati	, infine, si è detta molto p	cognome femminile	Nilufar Addati
31	Cardinale cerca il suo posto ,	la		Aijani	non si stacca un attimo dal c	cognome femminile	Isabella Aijani
32	e element " con Bruce Willis e	la		Aijani	; chiusura alla grande con il	cognome femminile	Isabella Aijani
33	el Paese . Citando il Corano ,	la		Afzali	ha spiegato alle connazionali	cognome femminile	Amina Afzali
34	iare . Il Corano , ha spiegato	la		Afzali	, consiglia alle donne di ind	cognome femminile	Amina Afzali
35	sione di questi sacri riti " .	La		Afzali	ha usato toni prudenti nel su	cognome femminile	Amina Afzali



36	<i>e che fu imposto dai taleban .</i>	<i>La</i>	<i>Afzali</i>	<i>ha spiegato via radio che il</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Amina Afzali</i>
37	<i>elo Caroli 30 10 1997 IN BREVE</i>	<i>La</i>	<i>Agnelli</i>	<i>difende la ricerca scientific</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Susanna Agnelli</i>
38	<i>osa e , in veste di outsider ,</i>	<i>la</i>	<i>Agnelli</i>	<i>. 31 05 1997 FATTI E GENTE Al</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Margherita Agnelli</i>
39	<i>lezioni municipali in Bosnia .</i>	<i>La</i>	<i>Agnelli</i>	<i>, che è stata nominata lo sco</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Susanna Agnelli</i>
40	<i>strumentali e opere liriche ,</i>	<i>la</i>	<i>Agnesi</i>	<i>fu all ' epoca virtuosa celeb</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Maria Teresa Agnesi Pinottini</i>
41	<i>, 40 giorni di guarigione per</i>	<i>la</i>	<i>Agosti</i>	<i>ed il Bolzoni , mentre per il</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Loretta</i>
42	<i>o dei fondi con i rendimenti .</i>	<i>La</i>	<i>Airoldi</i>	<i>canta la Pfaf E domani tocca</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Daniela Airoldi</i>
43	<i>icità sono state molte " dice</i>	<i>la</i>	<i>Airoldi</i>	<i>" è un film corale e il cast</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Conchita Airoldi</i>
44	<i>ui non pensi a Irina Alberti .</i>	<i>La</i>	<i>Alberti</i>	<i>veniva a Roma per incontrare</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Irina Alberti</i>
45	<i>ne i dettagliati resoconti che</i>	<i>la</i>	<i>Alberti</i>	<i>gli esponeva circa i movimnt</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Irina Alberti</i>
46	<i>stato il dialogo tra il Papa e</i>	<i>la</i>	<i>Alberti</i>	<i>. Per questo non c ' è giorno</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Irina Alberti</i>
47	<i>be sa di scandali e di santi ,</i>	<i>la</i>	<i>Alberti</i>	<i>incalza questa bizzarra prota</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
48	<i>re un autore in cui crede dice</i>	<i>la</i>	<i>Alberti</i>	<i>. Ma intanto in Russia hanno</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Irina Alberti?</i>
49	<i>i e i gialli - sostiene ancora</i>	<i>la</i>	<i>Alberti</i>	<i>- . Argomenti rimasti tabù pe</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Irina Alberti?</i>
50	<i>siniani ? Ci sono - è convinta</i>	<i>la</i>	<i>Alberti</i>	<i>- ma descrivono la reltà di o</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Irina Alberti?</i>
51	<i>ce l ' ha a morte con me e con</i>	<i>la</i>	<i>Aldini</i>	<i>che è l ' avvocato del Comune</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Laura Aldini</i>
52	<i>a proposito della proprietà ,</i>	<i>la</i>	<i>Alfonsi</i>	<i>, sostiene « che non abbia cb</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Sabrina Alfonsi</i>
53	<i>uerrita e coraggiosa quale era</i>	<i>la</i>	<i>Alpi</i>	<i>" . Quanto alla discussione c</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ilaria Alpi</i>
54	<i>ornalista Ilaria Alpi , quando</i>	<i>la</i>	<i>Alpi</i>	<i>, secondo la rivista dei comb</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ilaria Alpi</i>
55	<i>one umanistico - idealistica .</i>	<i>La</i>	<i>Amari</i>	<i>ricostruisce con passione , n</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Monica Amari</i>

56	<i>bund, e nel '19 il Bauhaus.</i>	<i>La</i>	<i>Amari</i>	<i>denuncia a ragione. noi ital</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Monica Amari</i>
57	<i>o davvero fortunato - conferma</i>	<i>la</i>	<i>Ammirati</i>	<i>, diplomata in grafica pubbli</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
58	<i>azione tra il commercialista e</i>	<i>la</i>	<i>Amoretti</i>	<i>. I due stavano cercando di r</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Maria Amoretti</i>
59	<i>ignara madre di sua moglie, e</i>	<i>la</i>	<i>Amoretti</i>	<i>la sua factotum. Tutt' altr</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
60	<i>e poi ... Che poi ?, chiede</i>	<i>la</i>	<i>Amoretti</i>	<i>. Ho trasferito alla Banca Po</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Maria Amoretti</i>
61	<i>loro, Bonifaci, Melpignano,</i>	<i>la</i>	<i>Amoretti</i>	<i>, i fratelli Francesco e Gaet</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Maria Amoretti</i>
62	<i>arantito dalla bravura con cui</i>	<i>la</i>	<i>Andreini</i>	<i>è andata alla ricerca dei bra</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Alba andreini</i>
63	<i>. Simonetta Robiony 11 07 1997</i>	<i>La</i>	<i>Andreoli</i>	<i>presidente del Vittoriale Olt</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Maria Andreoli</i>
64	<i>e universo kitsch di Gardone,</i>	<i>la</i>	<i>Andreoli</i>	<i>sta per varare un' altra ras</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Maria Andreoli</i>
65	<i>ione con un buon 8' 56"59) e</i>	<i>la</i>	<i>Andreucci</i>	<i>, che si è spenta nel finale</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Lucilla Andreucci</i>
66	<i>. Per sovrappiù due giorni fa</i>	<i>la</i>	<i>Anelli</i>	<i>si è dimessa e ha rifiutato l</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Giovanna Anelli</i>
67	<i>te a ringraziare pubblicamente</i>	<i>la</i>	<i>Anghinolfi</i>	<i>per la sua dedizione. Ancora</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Federica Anghinolfi</i>
68	<i>tenuto dal mondo Lgbt al quale</i>	<i>la</i>	<i>Anghinolfi</i>	<i>faceva apertamente riferiment</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Federica Anghinolfi</i>
69	<i>o regalato'. Nelle audizioni</i>	<i>la</i>	<i>Anselmi</i>	<i>prendevo questi appunti, sin</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Tina Anselmi</i>
70	<i>e Cicchitto che mi ricordo che</i>	<i>la</i>	<i>Anselmi</i>	<i>disse 'ma come? Questo dovr</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Tina Anselmi</i>
71	<i>avro Antonio Giaimo 15 06 1997</i>	<i>La</i>	<i>Anselmi</i>	<i>: inchiesta più difficile del</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Tina Anselmi</i>
72	<i>Alvarez nel ruolo del titolo,</i>	<i>la</i>	<i>Antonacci</i>	<i>è Donna Eleira, la Devia Don</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Caterina Antonacci</i>
73	<i>siello. Dirige Mui, cantano</i>	<i>la</i>	<i>Antonacci</i>	<i>e Flores, Pertusi, e Lepore</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Caterina Antonacci</i>
74	<i>nella foto) quale Leporello,</i>	<i>la</i>	<i>Antonacci</i>	<i>quale Donna Eleira e, nel ru</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Caterina Antonacci</i>
75	<i>Aspen Institute. Mannheim e</i>	<i>la</i>	<i>Antoncelli</i>	<i>debutteranno a ottobre con un</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Patrizia Antonicelli</i>

76	<i>e, cioè i futuri insegnanti.</i>	<i>La</i>	<i>Anzi</i>	<i>, dei due volumi editi nella</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Paola Anzi</i>
77	<i>a, risponde con la voce rotta</i>	<i>la</i>	<i>Apuzzi</i>	<i>, commossa di quei dodici sec</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Michela Apuzzi</i>
78	<i>sei speciale! A tutto questo</i>	<i>la</i>	<i>Apuzzi</i>	<i>ci ha creduto. E quando a un</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Michela Apuzzi</i>
79	<i>ione generale. Il modo in cui</i>	<i>la</i>	<i>Archibugi</i>	<i>tratta i caratteri dei giovan</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Francesca Archibugi</i>
80	<i>o. Con poche parole e sguardi</i>	<i>la</i>	<i>Archibugi</i>	<i>ci dice tutto della ferocia e</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Francesca Archibugi</i>
81	<i>uardare la propria vita" dice</i>	<i>la</i>	<i>Archibugi</i>	<i>, autrice di soggetto e scene</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Francesca Archibugi</i>
82	<i>oi. Per esempio per allattare</i>	<i>la</i>	<i>Arcuri</i>	<i>a andare da Berlusconi, come</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Manuela Arcuri</i>
83	<i>i, che il premier ci teneva.</i>	<i>La</i>	<i>Arcuri</i>	<i>è « molto bella e valida » :</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Manuela Arcuri</i>
84	<i>arei proprio un idiota!» -</i>	<i>La</i>	<i>Arcuri</i>	<i>, tua compagna in Mai Dire Go</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Manuela Arcuri</i>
85	<i>ve essere un disastro ... Però</i>	<i>la</i>	<i>Argentieri</i>	<i>piange e questo mi dispiace.</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>(la prof Argentieri)</i>
86	<i>sull'argomento. Di Mastorna</i>	<i>la</i>	<i>Argentieri</i>	<i>ha scritto: ``Quest'oper</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Simona Argentieri</i>
87	<i>eria per le edizioni Meltemi.</i>	<i>La</i>	<i>Argentieri</i>	<i>coltiva da sempre un curioso</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Simona Argentieri</i>
88	<i>nche alcune funzioni materne -</i>	<i>la</i>	<i>Argentieri</i>	<i>intende l'uomo invidioso de</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Simona Argentieri</i>
89	<i>erezza? Cercando, suggerisce</i>	<i>la</i>	<i>Argentieri</i>	<i>nelle vesti dell'osservatri</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Simona Argentieri</i>
90	<i>ni il premio Janina Nawrocka (</i>	<i>la</i>	<i>Armellini</i>	<i>si potrà ascoltare il 17 gen</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Leonora Armellini</i>
91	<i>e quelle su Giuliano Ferrara e</i>	<i>la</i>	<i>Armeni</i>	<i>, ma è una raccolta precisa e</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ritanna Armeni</i>
92	<i>lla Armeni. E così conclude,</i>	<i>La</i>	<i>Armeni</i>	<i>, da buona portavoce, non si</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ritanna Armeni</i>
93	<i>la parola criminale". Invece</i>	<i>la</i>	<i>Armeni</i>	<i>si è limitata a spostare il t</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ritanna Armeni</i>
94	<i>le critiche dell'"Unità",</i>	<i>la</i>	<i>Armeni</i>	<i>non risponde personalmente.</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ritanna Armeni</i>
95	<i>. Ma ricorda alle ditte che</i>	<i>la</i>	<i>Armeni</i>	<i>non ha obbietato nulla quando</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ritanna Armeni</i>

96	<i>io non ha tentato di offendere</i>	<i>la</i>	<i>Armeni</i>	<i>in quanto donna, ha tentato</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ritanna Armeni</i>
97	<i>, ma anche a Hitler, ricorda</i>	<i>la</i>	<i>Arzeni</i>	<i>, Berlino non piaceva . L ' h</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Flavia Arzeni</i>
98	<i>e . " Probabilmente - prosegue</i>	<i>la</i>	<i>Assisi</i>	<i>- i ragazzi del Bresciano han</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Francesca Assisi</i>
99	<i>conversazioni telefoniche con</i>	<i>la</i>	<i>Assoni</i>	<i>che Foglia registrò clandestini</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Mariangela Assoni</i>
100	<i>n la nuova versione, invece,</i>	<i>la</i>	<i>Assoni</i>	<i>ha dichiarato che il marito è</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Mariangela Assoni</i>
101	<i>a a vittima, onde impietosire</i>	<i>la</i>	<i>Assoni</i>	<i>e indurla a cambiar versione</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Mariangela Assoni</i>
102	<i>i Ionesco, Genet ... " spiega</i>	<i>la</i>	<i>Asti</i>	<i>. " Lei quando scrive non si</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Adriana Asti</i>
103	<i>eri . " è straordinaria " dice</i>	<i>la</i>	<i>Asti</i>	<i>guardando l ' amica . Smentis</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Adriana Asti</i>
104	<i>In realtà se ne fregano " dice</i>	<i>la</i>	<i>Asti</i>	<i>. Non ha molta voglia di parl</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Adriana Asti</i>
105	<i>di " Linda e il Brigadiere " e</i>	<i>la</i>	<i>Asti</i>	<i>sarà a Parigi con " Tosca e l</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Adriana Asti</i>
106	<i>' era più coraggio " riprende</i>	<i>la</i>	<i>Asti</i>	<i>. " Eravamo liberi . Polemici</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Adriana Asti</i>
107	<i>si è radicata , noi no » * * «</i>	<i>La</i>	<i>Attali</i>	<i>? Chi mi accusa è cascato nel</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
108	<i>filogenesi ed ontogenesi , che</i>	<i>la</i>	<i>Atrili</i>	<i>( nella sua prefazione ) impu</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Grazia Atrili?</i>
109	<i>mente nel Museo archeologico .</i>	<i>La</i>	<i>Aulenti</i>	<i>è l ' unica " firma " dell '</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Gae(tana) Aulenti</i>
110	<i>, i Castiglioni , i Gregotti ,</i>	<i>la</i>	<i>Aulenti</i>	<i>, i Bellini , i Cerri , i Sot</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Gae(tana) Aulenti</i>
111	<i>Mai un momento di rivalità con</i>	<i>la</i>	<i>Autieri</i>	<i>? " La rivalità c ' è sempre</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
112	<i>rto la Baldini felice di avere</i>	<i>la</i>	<i>Avalli</i>	<i>in cinquina . Non certo i let</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ippolita Avalli</i>
113	<i>da tutti gli altri colleghi .</i>	<i>La</i>	<i>Emili</i>	<i>si può consolare , è in ottimi</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Anna Rita Emili</i>
114	<i>fa molto da chioccia " , dirà</i>	<i>la</i>	<i>Ensolì</i>	<i>, altri ( e sono molti ) re</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Barbara Ensolì</i>
115	<i>Radwanska è furiosa , 3-1 , h</i>	<i>la</i>	<i>Errani</i>	<i>comprende che arrivare al ter</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Sara Errani</i>

116	<i>un po' scesa in classifica e</i>	<i>la</i>	<i>Errani</i>	<i>decisa a difendere il n.12 in</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Sara Errani</i>
117	<i>** Rinascè Nadal, si arrende</i>	<i>la</i>	<i>Errani</i>	<i>***** Niente da fare pe</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Sara Errani</i>
118	<i>io . Nel testo si aggiunge che</i>	<i>la</i>	<i>Esfandiari</i>	<i>ha « confessato » questi lega</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Haleh Esfandiari</i>
119	<i>Angelo Lombardo - indviduava</i>	<i>la</i>	<i>Interlandi</i>	<i>come messaggera di indicazion</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Rosanna Interlandi</i>
120	<i>r il docente, tanto più che è</i>	<i>la</i>	<i>Irti</i>	<i>in persona a rispondere al te</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Claudia Irti</i>
121	<i>l poliziotto " . Lo sapevo che</i>	<i>la</i>	<i>Isoardi</i>	<i>era solo una copertura . Quat</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Elisa Isoardi</i>
122	<i>to durante il fidanzamento con</i>	<i>la</i>	<i>Isoardi</i>	<i>: troppo celebre e glamour pe</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Elisa Isoardi</i>
123	<i>. " Magari non sarò brava come</i>	<i>la</i>	<i>Isoardi</i>	<i>, ma un buon risotto lo so fa</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Elisa Isoardi</i>
124	<i>oto del bacio appassionato che</i>	<i>la</i>	<i>Isoardi</i>	<i>aveva dato al Matteo " sbagli</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Elisa Isoardi</i>
125	<i>zzo pure una foto che ritraeva</i>	<i>la</i>	<i>Isoardi</i>	<i>e Placidi prima_ che la loro s</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Elisa Isoardi</i>
126	<i>ola " ) di Elisa Pozza Tasca .</i>	<i>La</i>	<i>Izzi</i>	<i>, uno dei pochi portaborse di</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Paola Izzi</i>
127	<i>be, dopo la visita in villa ,</i>	<i>la</i>	<i>Occhini</i>	<i>non lascia più in pace suo ma</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Giulia Occhini</i>
128	<i>anni lo uccide . Al funerale ,</i>	<i>la</i>	<i>Occhini</i>	<i>è additata come la vera colpe</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Giulia Occhini</i>
129	<i>il titolo della mostra in cui</i>	<i>la</i>	<i>Occhipinti</i>	<i>s' interroga sul significato</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Angela Occhipinti</i>
130	<i>1997 Martinano Dino - Marta ,</i>	<i>la</i>	<i>Olzai</i>	<i>conferma le accuse ROMA - Un</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Giuliana Olzai</i>
131	<i>e io stesso non so dire perché</i>	<i>la</i>	<i>Olzai</i>	<i>dovrebbe inventarsi di aver v</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Giuliana Olzai</i>
132	<i>momento importante - ha detto</i>	<i>la</i>	<i>Oriani</i>	<i>- per dare un messaggio molto</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Ardemia Oriani</i>
133	<i>ccettato lo scambio tra Agca e</i>	<i>la</i>	<i>Orlandi</i>	<i>- spiega il magistrato - e fi</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Emanuela Orlandi</i>
134	<i>a Arduino di Moncalieri espone</i>	<i>la</i>	<i>Orlandini</i>	<i>Ville, giardini e acquerelli</i>	<i>cognome femminile?</i>	<i>Maria Chiara Orlandini?</i>
135	<i>vo e ricco di limpidi colori ,</i>	<i>la</i>	<i>Orlandini</i>	<i>ha tradotto nei suoi fogli la</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Maria Chiara Orlandini?</i>

136	<i>lamanca al _posto_ della Gauci .</i>	<i>La</i>	<i>Orsatti</i>	<i>Talamanca faceva parte del se</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Marcella Orsetti Talamanca</i>
137	<i>uet floreali . Come sottolinea</i>	<i>la</i>	<i>Orsi</i>	<i>Landini , una vera e propria</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Roberta Orsi Landini</i>
138	<i>astanza bene già da sei mesi .</i>	<i>La</i>	<i>Orsi</i>	<i>era una donna robusta , con g</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Cristina Orsi</i>
139	<i>due giorni prima la Cardullo ,</i>	<i>la</i>	<i>Ortolani</i>	<i>, la Centoni avevano dato tes</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Serena Ortolani</i>
140	<i>a del sinistro . La Lombardi ,</i>	<i>la</i>	<i>Ottaviani</i>	<i>e la Società L ' Abeille resi</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Paola Ottaviani</i>
141	<i>no controricorso la Lombardi e</i>	<i>la</i>	<i>Ottaviani</i>	<i>. Disposta ad effettuata la i</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Paola Ottaviani</i>
142	<i>stica . Un interesse ( osserva</i>	<i>la</i>	<i>Ottieri</i>	<i>) giunto talvolta a un purism</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Alessandra Ottieri?</i>
143	<i>e due Vittorie , la Cappelli e</i>	<i>la</i>	<i>Ottolenghi</i>	<i>, con l ' aiuto di Renzo Arbo</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Vittoria Ottolenghi</i>
144	<i>"Non voglio stare qui . dice</i>	<i>la</i>	<i>Oziosi</i>	<i>. anche _se mi fa male la test</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Pamela Oziai</i>
145	<i>segnato dalla Celentano . Poi</i>	<i>la</i>	<i>Ulivi</i>	<i>ha arrotondato . martedì ,</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>?</i>
146	<i>erraro si è disperato " . Ieri</i>	<i>la</i>	<i>Urilli</i>	<i>è stata interrogata : la donn</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Maria Urilli</i>
147	<i>urata la certezza che Basciu e</i>	<i>la</i>	<i>Urilli</i>	<i>abbiano deliberatamente cerca</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Maria Urilli</i>
148	<i>è stato un saluto freddo . Poi</i>	<i>la</i>	<i>Urilli</i>	<i>ha avuto una sorta di mancame</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Maria Urilli</i>
149	<i>to nella segreteria - ha detto</i>	<i>la</i>	<i>Urilli</i>	<i>tra il serio e l ' ironico -</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Maria Urilli</i>
150	<i>ero rivolta , e cioè Basciu e</i>	<i>la</i>	<i>Urilli</i>	<i>, facevano nulla , e avendo n</i>	<i>cognome femminile</i>	<i>Maria Urilli</i>